

農業科



自然こそ 我が師なり…農場が教室です

私たちの食料は、植物や動物の命です。その食料生産は、土や水や森など自然環境と共生する形で私たちの地域を築いています。そんな食料生産や地域環境などについて学ぶのが農業学習です。農業学習は、実験や実習を自ら体感し“汗を流して学ぶ”もので、“農場が教室”です。自らの興味・関心や将来の夢にあった学科を選び、3年間で基礎的な知識と技術、地域課題に自ら取り組める力を身につけます。そして、地域活動等を通して多くの人と出会い、地域社会を支える人として生きる道を見いだすことができます。

農業学習は、4分野に分けられます。

- ①植物の栽培、動物の飼育、食品加工などの農業技術と経営、食品に関する学習
- ②森林、土木、造園などの地域環境に関する学習
- ③動物、植物の生物学に関する学習
- ④フラワーアレンジ、生物活用などのヒューマンサービスに関する学習



授業風景



草花実習



果樹実習



畜産実習



食品加工実習



施工実習



造園実習

卒業生からのメッセージ

～農業高校…可能性無限大！～



農事組合法人ファームさんみ
吉村 未来絵さん
山口県立白直農業高等学校
(現大津緑洋高等学校
平成19年度卒業)



林野庁関東森林管理局
塩那森林管理署
高柳 修延さん
(群馬県立勢多農林高等学校
平成22年度卒業)

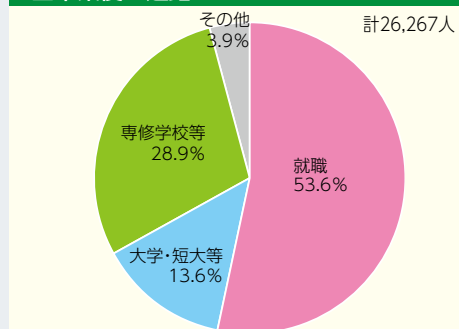
私は農業高校を卒業した後、農業研修後、新規就農しました。萩たまげナス・水稲・ブロッコリーを中心に栽培し、その合間に地域の農事組合法人“ファームさんみ”で農業をしています。この時期は、ブロッコリーの育苗・定植が主な作業です。高校で野菜栽培の基礎を学んでいたのが役に立ちました。やはり、基本がわかっていると作業内容もわかりスムーズに作業を進めることができます。

私は、農業についての知識を広げるために農業高校に進学しましたが、農業以外のこともたくさん学ぶことができ、今思えばとても充実した日々を過ごしていました。たくさんの経験ができる農業高校は可能性無限大だと思います。

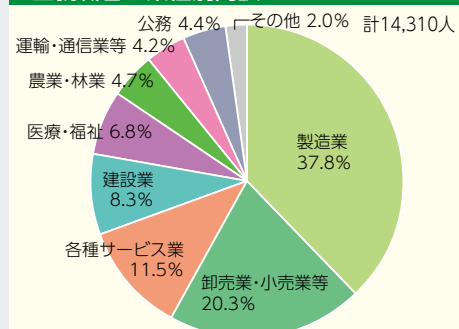
私は高校時代、バイオテクノロジーを通じて環境保全に取り組みたいと考え、そのためには森林を保護・活用することが必要だと思いました。そして、より専門的なことを学べる大学へ進学し林野庁に入り、環境保全に取り組んでいこうと目標を立て努力してきました。現在は、林野庁関東森林管理局塩那森林管理署で丸太の生産から販売までの事務や、生産された丸太の規格確認検査などを行っています。将来は環境保全に活躍できる一員になりたいと考えています。

私は何事にも夢や目標をもって粘り強く取り組むことが大切だと考え、目標に向かって突き進むことが成功への近道と信じ日々努力をしています。

卒業後の進路



就職者の業種別内訳



文部科学省「学校基本調査」(平成28年3月卒業者)から作成。

在校生が目指す主な資格等

日本農業技術検定|家畜人工授精師|毒物劇物取扱責任者|危険物取扱者|食品衛生責任者|ボイラー取扱者|測量士・測量士補|土木施工管理技術検定|園芸装飾技能士|造園技能検定|小型車両系建設機械運転|食生活アドバイザー ほか

※農業学習の諸活動や取得した資格などで評価する顕彰制度を設けています。
(全国農業高等学校校長協会)